

校長	教頭	教頭

担当者 : _____ 印

1. 目標

- ①我が国の歴史の展開を、諸資料にもとづき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察する。
- ②各時代の特色とその変遷の総合的考察を通じて、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深める。
- ③歴史的思考力をつちかい、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2. 内容

現代の日本社会が抱える課題の多くは、歴史的に形成されてきたものです。私たちは、日本の歴史の展開を地理的条件や世界の歴史と関連付けて学ぶことによって、それらの課題についてより深く理解することが可能です。そして、それらの課題を解決していくためには、歴史的な思考力、公正な判断力、豊かな表現力を身に付けることが必要です。このねらいを達成できるよう、新編日本史 B は以下のように構成されています。

本編にあたる第1章から第5章では、原始・古代から現代にいたる日本の歴史の展開を学習します。第1章では古代国家の形成について、第2章では武家社会の形成について、第3章では近世社会の形成について、第4章では近代国家の形成について、第5章では現代の日本と世界について学びます。各章末にはまとめのページが設けられているので、その時代がどのような時代であったのか、課題に沿って自らの言葉でまとめてみましょう。さらに、本編に入る前に「歴史と資料」、第2章の冒頭に「歴史の解釈」、第3章のなかに「歴史の説明」、第5章の末には「歴史の論述」が設けられています。一連の学習を計画的に行うことで、歴史学習にかかわる基本的な技能を段階的に高めていけるように配置されています。

また、各章には、「この時代の人々のすがた」「コラム」「歴史を探る」が設けられています。これらの資料を通して、それぞれの時代の歴史を体験的に学習し、私たちひとりひとりが歴史の当事者であるという自覚をもち、課題を発見することをめざします。巻末に位置する「歴史に学ぶ」は、現代の私たちが生きていくうえで指針となりうるテーマを含む歴史的な事象を取り上げます。

これらの学習を通じて、歴史的な思考力、公正な判断力、豊かな表現力を身に付けていきましょう。

3. 評価の方法

- ①年5回の定期考査では、ペーパーテストによって出題範囲における習得の状況を評価します。
- ②「歴史の解釈」「歴史の説明」をはじめとする課題学習の際のレポートは、評価のための資料とします。
課題の設定・追究学習を行う際には、「歴史の論述」を参考にしてください。
- ③学習活動の様子や発表、討論などの様子を評価のための資料とします。
- ④授業中におこなう小テストも評価のための資料とします。

4. 評定について

評定は、上記の方法で得られた評価に関する情報を総合的に判断して行います